

はぐくむ

✉seikatsu@asahi.com

土曜掲載

楽しみ学ぶ 漢字ゲーム

文章を読み書きするときを使う漢字は、子どもの遊びにも使えるそうです。漢字遊びに詳しいイデザイナード東北芸術工科大学名誉教授の馬場雄二さん(78)に、手軽な遊び方を教えてもらいました。



馬場雄二さん

紙とペンだけで 難易度も自在

「とにかく漢字が好き」という馬場さんには、漢字を用いたクイズやパズルなどの著書が多数ある。今回教えてもらったのは三つのゲームで、「簡単に、何人でも遊べるものばかり」という。用意するものは、紙と筆記具だけ。筆記具は太字で書けるフェルトペンなどが適している。すべて、問題を出す人が紙に漢字を1文字、人に見られないように大きく書くところまでは共通だ。

一つ目は、出題者がその紙をくしゃくしゃに丸め、少しずつ広げながら文字の形が見えるようにしていくゲーム。解答者たちは紙をいろんな角度から眺めて、書かれている漢字を推測し、一番早く当てた人が勝ちだ。「紙を丸めるとき、シワが多くなるようにしたほうが難しくなります」

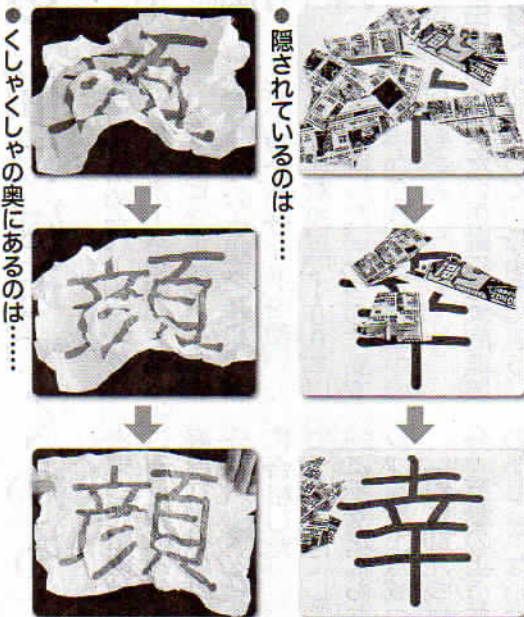
二つ目は、漢字を書いた紙の上に別の紙(チラシなど不要な紙で可)をちぎってばらまき、漢字を隠すものだ。紙片を参加者が1枚ずつ取り除き、最初に漢字を当てた人が勝ち。紙のちぎりを細かくし、紙片の枚数を増やすと難易

度が上がるという。三つ目のゲームでは、文字を書いた紙を四つ折りにして、折り目に沿って手で四つに破る。バラバラにした4枚を、文字の形がわからないように混ぜて並べる。解く側はその状態から、いろいろ並べ替えて漢字を見つける。

手で破っているときは、破った部分が組み合わせを探すとヒントになる。手で破らずにはさみやカッターで切ると、切り口をヒントにしづらくなって難しさがアップ。さらに分割数を増やすと、ぐっと難しくなるそうだ。

こうしたゲームの良さについて、馬場さんは「パズルやクイズの本は1回やると答えがわかってしまいが、これらは知っている漢字の数だけ問題が作れます」と語る。そして「子どもが習ったばかりの漢字でゲームをすれば、遊んでいるうちに漢字を自然に覚えていく。親子で遊んでもいい。楽しみながら漢字に興味を持ち、好きになってもらえれば」と話している。(友野賀世)

漢字を当てる遊び方



●隠されているのは……

●バラバラになっているのは……

●くしゃくしゃの奥にあるのは……

●お天気のいい日に家族でドライブ中、オープンカーが横を走り去ったのを見て一言。「あの車、屋根がついてなくてかわいそうだね」(福岡県宗像市 大川琉之介 33歳)

●朝ごはんを前に「め、いらな」としきりに訴えるほど。何のことかと思ったら、食パンの耳のことでした。(東京都世田谷区 鉄原由樹 2歳)

